

地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ巨大地震が発生したとき、田辺市では最大震度7が予想されています。



- ほとんどの人が恐怖を覚え、物につきまりた感じる。
- 電灯などがけがれは大きくなる。
- 座布団の悪い重りが倒れる。

- 半分の人が恐怖を覚え、物につきまりた感じる。
- 窓や食器棚や本棚が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具が半分移動し、倒れるものもある。ドアが開かないことがある。
- 壁やウイルスや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、床が落したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

- 大きな地震が生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ 数値での発表(津波の高さ予測区分)	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超(10m<予想高さ)	海岸や河川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返しあくまで、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。	●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	10m(5m<予想高さ10m) 5m(3m<予想高さ5m)	ごなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	●海拔の低いところでは津波による浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	3m(1m<予想高さ3m) 1m(20cm<予想高さ1m) (表記なし)	海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海難から脱れてください。 津波注意報が解除されるまで船に入ったり海上に近づいたりしないでください。	●海の中には人は速い流れに巻き込まれます。 ●強いかたが流出し、小型船が転覆します。

●震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたたら避難を直ぐ」という津波沿岸の地域などの影響により活動的に予想よりも早くなる場合があります。●津波沿岸の地域などを指して避難しましょう。●地震発生後も津波変動が継続する場合には、「津波予測(若干の震度)」が発表されます。●想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表されます。ただし、地図の規範(マグニチュード)を考慮するうえで最大震度の場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表され、非常事態であることを伝えられます。

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。

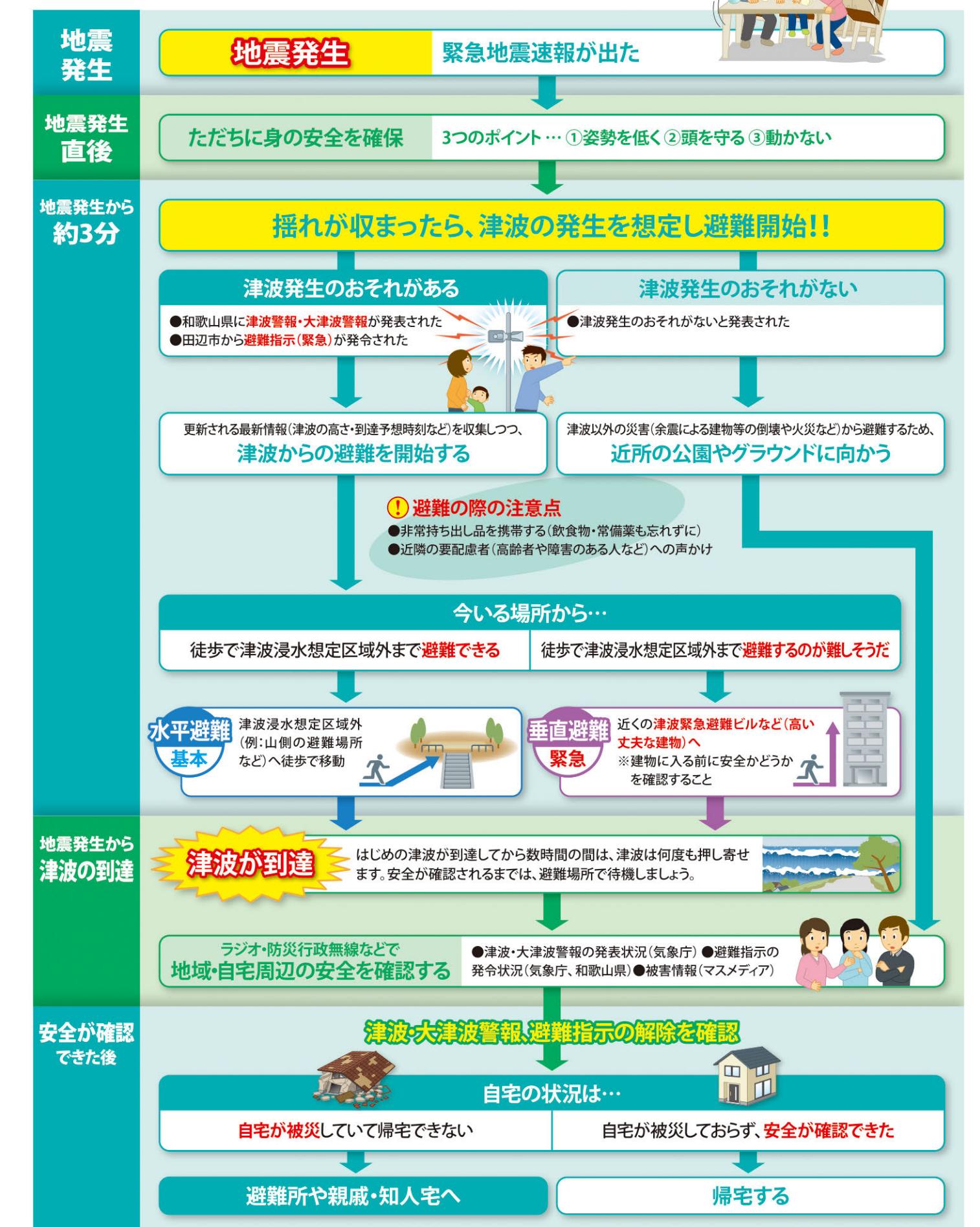


今すぐできる地震対策

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。



地震・津波から 身を守るポイント

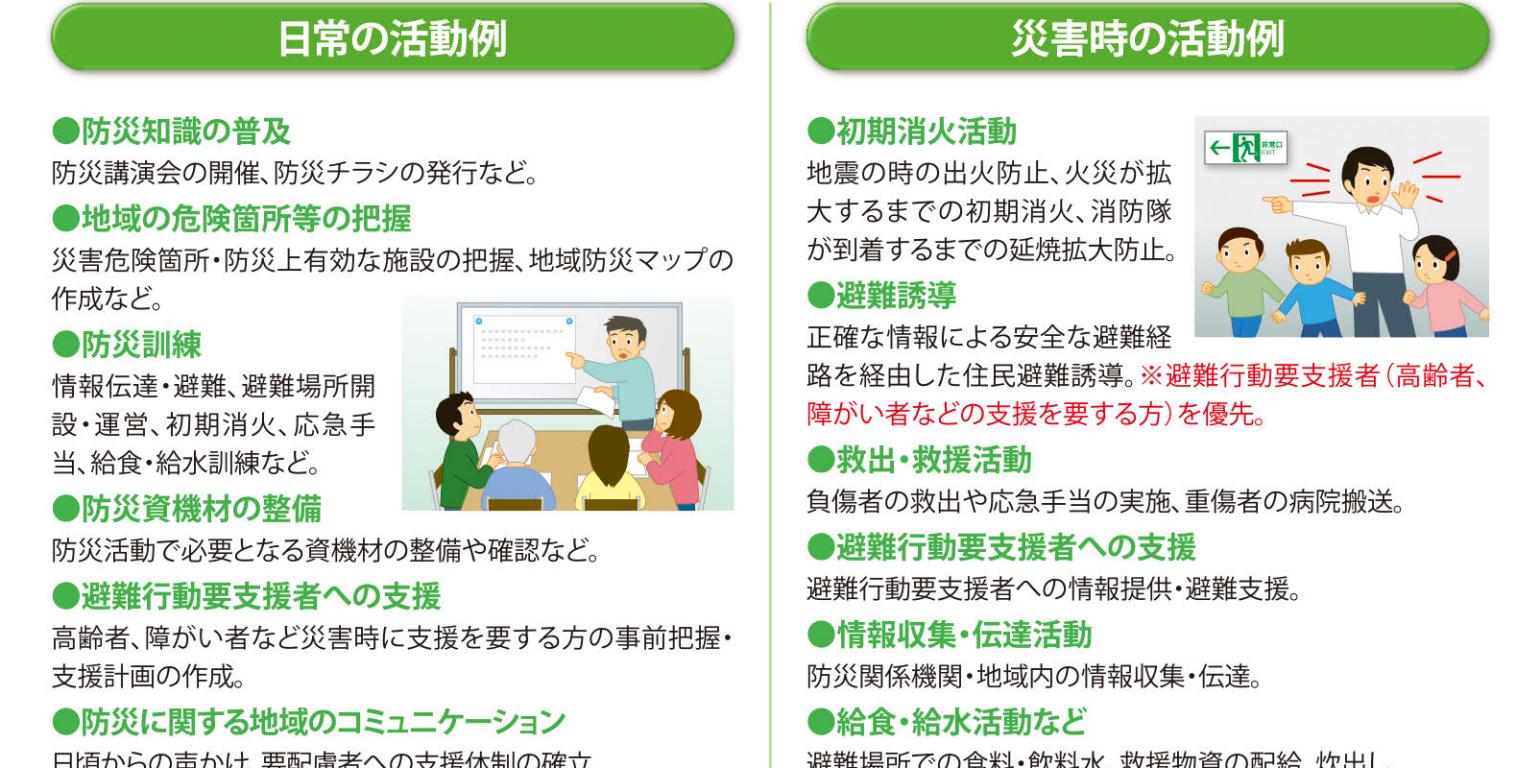


- 半分の人が恐怖を覚え、物につきまりた感じる。
- 窓や食器棚や本棚が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具が半分移動し、倒れるものもある。ドアが開かないことがある。
- 壁やウイルスや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、床が落したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
- 大きな地震が生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

みんなで助け合う 地域の防災活動

自主防災組織の役割

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の連携に基づき、結成される防災組織のことです。自主防災組織は、災害発生時に、お互いの身を守るために、平時からの防災訓練を含めた防災活動を行います。災害時に効果的な活動ができるよう、住民一人ひとりが防災に関する正しい知識を共有し、各家庭で備えるとともに、地域住民が一体となり防災活動へ取り組むことが重要です。



避難行動要支援者の手助けをしましょう

避難行動要支援者とは、一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊娠婦、日本語を十分理解できない外国人など、災害発生時の避難に時間のかかる方々のことです。地域で協力し合いながら、近所の要支援者の方の安否確認や避難場所への避難を支援しましょう。



避難経路を想定して マイマップを作ろう

マイマップの作り方

地震はいつ起こるかわかりません。いろんな場面において地震や津波が起きた場合に備えて、家族みんなの避難先(裏山、高台、公園など一時的に身を守るために緊急避難する場所)を確認しておきましょう。また、表面の津波避難マップに、自分が避難する場合を想定した避難情報を書き加えて、より具体的な避難行動イメージができるようにしておきましょう。

マイマップの記入例(表面:津波避難マップ)

①自宅や学校、勤務先等をチェック

まず、津波避難マップであなたの自宅や学校、勤務先を探して、予測されている被害の有無(津波浸水想定区域に入っている、危険箇所がある等)を確かめましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。



②避難経路を歩いてみよう

実際に避難先まで歩いてみましょう。津波避難マップを持って、避難経路上の危険なところや、目印などをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や、所要時間を確認しましょう。

③津波避難マップに書き込もう

安全に避難先まで行くよう、わが家のマイマップをつくります。記入例を参考に、①で調べたことを表面の津波避難マップに書き込んで、一番安全な経路を確かめましょう。

日頃からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品の準備

災害が発生したときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日～3リットルを自己安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、ハムなど) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> フミルクと離乳食(赤ちゃんがいる場合) <input type="checkbox"/> アレルギー対応食品(アレルギーがある場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、はんそうこう <input type="checkbox"/> 携帯用消毒液 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ズキン <input type="checkbox"/> ホイストル <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 持病保証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの)

衣類など	日用品など
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 携帯電池(予備電池) <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品

「循環備蓄(ローリングストック)」を心がけましょう
循環備蓄とは、備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことをいいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎましょう。

災害時の連絡方法・情報の入手先

災害時の連絡方法を家族で確認しておきましょう。また、田辺市の『防災・行政メール』を登録しておきましょう。

災害伝言ダイヤル ①⑦①	田辺市防災行政情報システム「防災・行政メール」
電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。	気象警報や避難情報などの災害に関する情報をメールでお知らせします。
① ⑦①をダイヤル	【登録方法】
② 録音は①	①regist@bousaiyousei.aamilik.aiikis.jpに空メールを送信します。(メールアドレスが収録されます)
③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル	②の直後に登録確認メールが送られてきますので、そのメールに記載されておりますURL(ホームページアドレス)にアクセスします。
④ 音声ガイダンスに従い、録音・再生	③該当ページが表示されますので登録を完了させます。
田辺市ホームページ	田辺市の防災に関する情報などを提供しています。
URL http://www.city.tanabe.lg.jp/	QRコード

上屋敷・中屋敷町地区における主な避難場所と避難経路

